

授業名：【選択科目】文章表現法01（正課）

担当教員：菅生早千江

時間数：全14回・23時間

開講日：9月30日

曜日・時間：火曜4限（15:30～17:10）

授業形態：対面

科目概要：

他者に「提出」する文章に求められるもの、先行研究など他者の手による文章・データとの向き合い方について身近なテーマや資料を用いて考え、身につける。さらに「書く」目的に応じた語彙・表現を知り、日本語表現についての考察を深め、文章資料の読解・分析の基本を理解する。それをおして読み手のために最適な伝達方法を身につける。

到達目標：

- ・論文等の文章を読んで、その文章の主題や構成を整理し、自分のことばで説明することができる。
- ・他者に情報を正確に伝えるための基本的な技術を用いて、自分の意見や考えを表現することができる。
- ・課題を探究し、レポート等の文章に、自分の意見を述べていくための問題意識、構成力、表現力等を示すことができ、社会への主体的な参画ができる。
- ・文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝えることができる。

合格目標：

- ・論文等の文章を読んで、その文章の主題や構成について一定の説明ができる。
- ・情報伝達のための基本的な技術を用いて、自分の意見や考えに関する一定の表現ができる。
- ・言語・文学・人間心理・文化の学修を通し自らテーマを見つけ出し追求する問題意識をもち、レポート等の文章に、自分の意見を述べていくための、構成力、表現力等を示すことができる。文学・文化について、さまざまなテーマでグループディスカッションをし、テーマに対して出た答えを伝え、社会への主体的な参画ができる。言語・文学・文化の学修を通して、社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身に付けている。

授業概要

回	日	授業内容	授業形態
1	9/30	【主題】 オリエンテーション 【学修目標】 本授業の位置づけ、概要、評価等を理解する。 【学修活動】 ・オリエンテーション： 目標と基本事項の確認（この科目の①到達目標②カリキュラムマップに記載のディプロマポリシーとの対応関係③履修系統図上の位置付けを説明します） 授業スケジュール、課題の提出方法についての確認 ・リアクションペーパーの書き方について ・グループワーク： レポートの書き方について、よくわからなかったことを共有する。 ・レポートの書き方 これから学ぶべきことの共有とコメント	対面
2	10/7	【主題】 小論文・レポート・論文の違い 【学修目標】 小論文とレポート・論文の違いについて学ぶ。・論文の種類について学ぶ。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・小論文とレポート・論文の違いについて学ぶ。・論文の種類について学ぶ。【教科書：はじめに・第1章】 ・サンプルレポートを評価してみる。	対面

3	10/14	【主題】 「問いを立てる」「先行研究」 【学修目標】 「問い」を立てること、「先行研究」を調べることについて理解する。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・「問いを立てる」とはということかについて学ぶ 【教科書：第2章】 ・「先行研究」について学ぶ。【教科書：第3章】 ・「先行研究」を正しく理解していたか、なぜ必要か、どのように調べるかについて学ぶ。（グループワーク） ・論文検索を行う。	対面
4	10/21	【主題】 「研究対象」「研究方法」 【学修目標】 「問い」を明らかにするために何をどうやって調査するのかを学ぶ。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・「問い」を明らかにするために行う調査について知る。調査をもとに研究を進める方法について学ぶ。調査方法の種類を知る。【教科書：第4章】 ・各調査方法の特徴、注意点について教科書をもとに話し合う（グループワーク） ・サンプル論文を精読する。サンプル論文では、どのような研究手法が用いられているのかを確認する。 ・自分が興味のあるテーマでは、どのような研究手法が用いられているかを学ぶ。（グループワーク）	対面
5	10/28	【主題】 「分析と結果」「考察」「結論」 【学修目標】 論文の要素「分析と結果」「考察」「結論」の書き方を学ぶ。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・結果と分析はどう書くのがいいのか、教科書を参照して考える。【教科書：第5章】 ・調査した結果を解釈して書くことの重要性を学ぶ。 ・「考察」として、調査結果をもとに、なぜこのような結果になったのか、先行研究に照らし解釈することについて学ぶ。【教科書：第6章】 ・結論をどのように書いたらいいかを学ぶ。【教科書：第7章】 ・サンプル論文を用いて、「問いの立て方」「先行研究」「研究方法」「結果」「考察」「今後の課題」に書いてあることをまとめる（グループワーク） ・課題論文の考察と結論は、どのように書かれているかを話し合う（グループワーク）	対面
6	11/4	【主題】 論文を仕上げるまでの作業、論文要旨発表課題の理解 【学修目標】 論文を提出前に何をチェックすべきかを学ぶ。サンプル論文を用いた要旨発表課題を理解する。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・論文全体を見渡し、整えることについて学ぶ。「校正」として、「番号の確認」「誤字・脱字・変換ミス」「表記の統一」「参考文献の照合」「紙面の見やすさ」の観点について学ぶ【第8章】 ・論文表現に関する教科書の分担発表について 担当を決める。【教科書 第2部】 ・論文の表現について学ぶ。「正確に書くこと：事実か、意見か、推測かを書き分ける」「オリジナリティを正しく伝える」ことについて学ぶ。【第9章】	対面
7	11/11	【主題】 選んだ文献に関する発表（各ペア15分）① 【学修目標】 ペアで選んだ研究論文について、構成を意識し要旨をまとめ発表することで、論文とはどのようなものかを理解する。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・文献発表①：論文の紹介、キーワードの説明、各構成要素の要点を含めた要旨、わかったこと、興味を持ったところ、今後の研究につながる所 ・正確な言葉選びについて学ぶ。「専門用語と日常語の区別：和語・漢語・外来語の使い分け」「専門用語と使用される研究領域」「語の定義づけ」について学ぶ。【第10章】担当者発表 ・正確な表記について学ぶ。「漢字と仮名の書き分け」「読点の打ち方」「記号の使い方」について学ぶ【第11章】 担当者発表	対面

8	11/18	【主題】 選んだ文献に関する発表（各ペア15分）（1人15分）② 【学修目標】 ペアで選んだ研究論文について、構成を意識し要旨をまとめ発表することで、論文とはどのようなものかを理解する。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・文献発表②：論文の紹介、キーワードの説明、各構成要素の要点を含めた要旨、わかったこと、興味を持ったところ、今後の研究につながるところ ・論文専用の表現について学ぶ。「論文専用の表現」「論文を構成する動詞」「論文らしい慣用表現」について学ぶ。【第12章】 担当者発表	対面
9	11/25	【主題】 選んだ文献に関する発表（各ペア15分）③ 【学修目標】 ペアで選んだ研究論文について、構成を意識し要旨をまとめ発表することで、論文とはどのようなものかを理解する。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・文献発表③：論文の紹介、キーワードの説明、各構成要素の要点を含めた要旨、わかったこと、興味を持ったところ、今後の研究につながるところ ・論文の文体について学ぶ。「論文らしい文体」「話し言葉と書き言葉」「論文になじまない言葉」「論文の軸となる名詞」について学ぶ。【第13章】 担当者発表	対面
10	12/2	【主題】 明晰な文とは何か 【学修目標】 「複数の意味を持つ文」「読者を迷子にする文」「曖昧さを含む文」を事例に、明晰な文とは何かを学ぶ。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・明晰な文とは何かについて学ぶ。「複数の意味を持つ文」「読者を迷子にする文」「曖昧さを含む文」について考える。【第14章】 担当者発表 ・受講生が発表した論文の中から該当する記述部分を探す。	対面
11	12/9	【主題】 明晰な文章表現とは 【学修目標】 「指示詞の使い方」「接続詞の使い方」「先行オーガナイザー」「要旨を述べる文」について学ぶ。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・明晰な文章表現について学ぶ。「指示詞の使い方」「接続詞の使い方」「先行オーガナイザー」「要旨を述べる文」について学ぶ。【第15章】 担当者発表 ・受講生が発表した論文の中から該当する記述部分を探す。	対面
12	12/16	【主題】 書き手の責任について 【学修目標】 「主張を支える根拠、根拠と主張をつなぐ論拠」「引用のルール」「論の破綻を防ぐこと」について考える。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・書き手の責任について学ぶ。「主張を支える根拠、根拠と主張をつなぐ論拠」「引用のルール」について学ぶ。「論の破綻を防ぐこと」について考える。【第16章】 担当者発表 ・受講生が発表した論文の中から該当する記述部分を探す。	対面
13	12/23	【主題】 論文分析課題 【学修目標】 学期末課題である論文分析課題について理解する。 【学修活動】 ・リアクションペーパーのフィードバックとコメント ・学期末課題である論文分析課題：論文を、教科書の観点に照らしてメタ的にみる(全体を見渡し、構成や分類などの構造を把握して内容を理解する)トレーニングとして実施する。	対面
14	1/20	【主題】 学期末課題 【学修目標】 論文の見方・効果的に読む着眼点の修得を意図した学期末課題を完成させる。 【学修活動】 ・前回予告した学期末課題について、筆記試験として時間内に完成させる。 ・学期中のふりかえり、まとめ	対面

<評価の基準>

S	A	B	C	D	X
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	－
到達目標を超えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標と合格目標の間にあるレベルを達成している	合格目標を達成している	合格目標を達成できていない	受験資格無、レポート・課題未提出等

<成績評価について>

- ・毎回のリアクションペーパー：30%
- ・授業参加態度・発表の完成度：40%
- ・学期末課題（研究論文分析課題）の達成度：30%